

浜松地域の経済動向

2021年7月を中心に

一部に弱さがみられるものの、持ち直してきている。

自動車生産台数は、半導体不足で工場が一時停止になったこともあり前年同月を下回った。

新設住宅着工戸数も、前年同月を下回った。

二輪車生産台数、楽器製造金額は前年同月を上回るなど堅調に推移した。

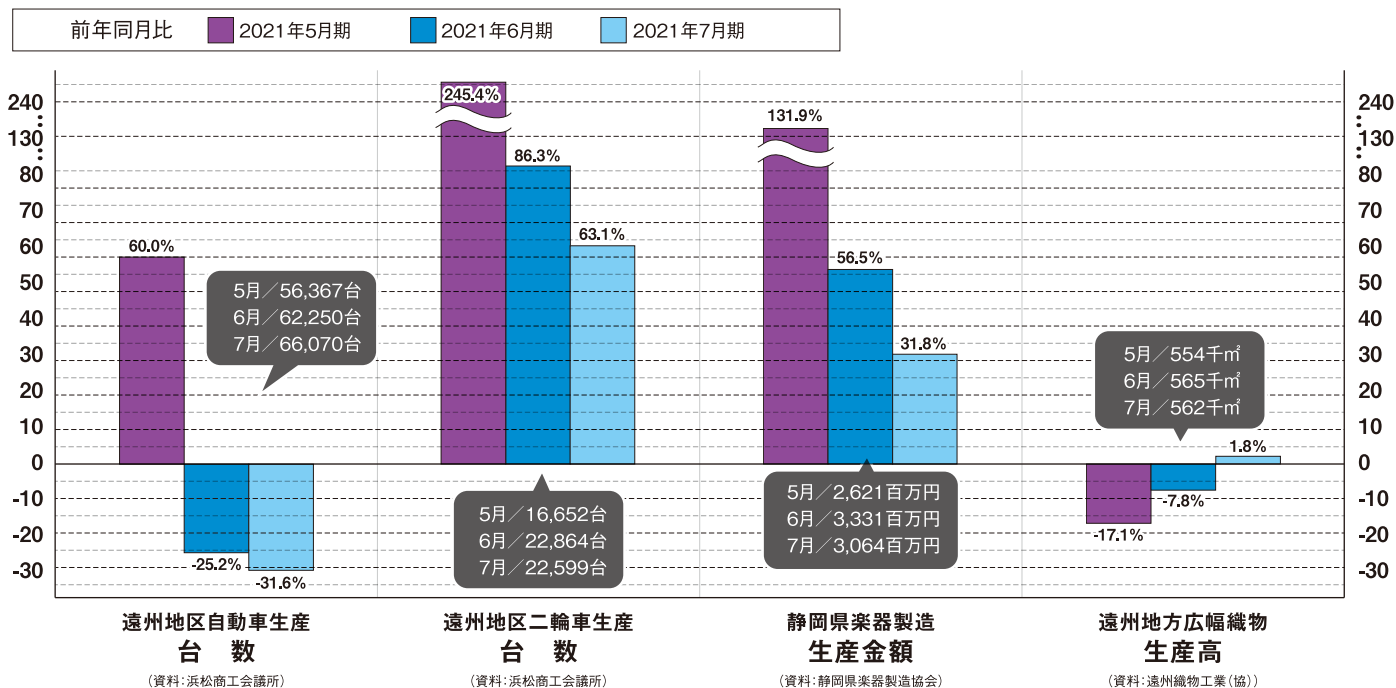
運輸・観光業では、静岡県観光促進事業の開始によりホテル稼働率は前年を上回っていたが、月の後半に新型コロナウイルス感染者数が増加し始めてからは低調に推移した。

雇用情勢は、浜松管内の有効求人倍率が1.08倍と4カ月ぶりに1倍を超えるなど改善が見られた。

ガソリン価格は3カ月連続で前月を上回るなど上昇傾向にある。



① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2021年7月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比31.6%減の6.6万台となった。軽自動車、小型自動車、普通車すべてで減少した。国内向けは前年同月比31.7%減、輸出は31.2%減となった。受注はあるが、半導体不足の影響により需要を満たす生産が出来ない状態となっている。工場の一時停止は4月から4カ月連続となった。

二輪車



2021年7月における二輪車生産台数は前年同月比63.1%増の2.2万台となった。国内向けは前年同月比19.5%増、輸出は前年同月比80.4%増となった。排気量別では50cc以下前年比8.3%減、51cc～125cc以下1.2%減、126cc～250cc以下9.4%減、251cc以上143.8%増であった。輸出は6カ月連続で前年同月を上回っている。前年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生産台数は落ち込んでいたが、二輪車は密を防ぐ交通手段として注目されてきたこともあり、7月の生産台数は新型コロナウイルス感染症拡大前の前々年7月(22,023台)を上回った。

楽器



2021年7月における生産金額は前年同月比31.8%増の30.6億円となった。ピアノ27.2%増、電子・電気ピアノ8.3%増、電子オルガン150.0%増、管楽器13.2%増となった。4カ月連続で全ての品目で、前年同月を上回った。販売の増加に伴い工場の稼働率は高くなっており、一部で休日出勤や残業により対応している。

繊維



2021年7月の生産高は前年同月比1.8%増の562千㎡となった。28カ月ぶりに前年同月比プラスとなった。コロナ禍であっても販路をもつ工場は比較的安定した生産高を確保できているが、自ら販路を持たない工場は厳しい状態が続いている。外出を自粛する人が多く、来春夏向けの受注は芳しくない。10月に予定の展示会の開催も危ぶまれている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2021年7月におけるタクシー乗車人員は前年同月比0.4%減の27.7万人となった。乗車人員は、最初順調に推移していたが、下旬に新型コロナウイルス感染者が増加し始めてからは低調となった。また、オリンピック開幕に合わせ宅配サービスを開始したが、単価が安いという収入の増加には繋がらなかった。

観光

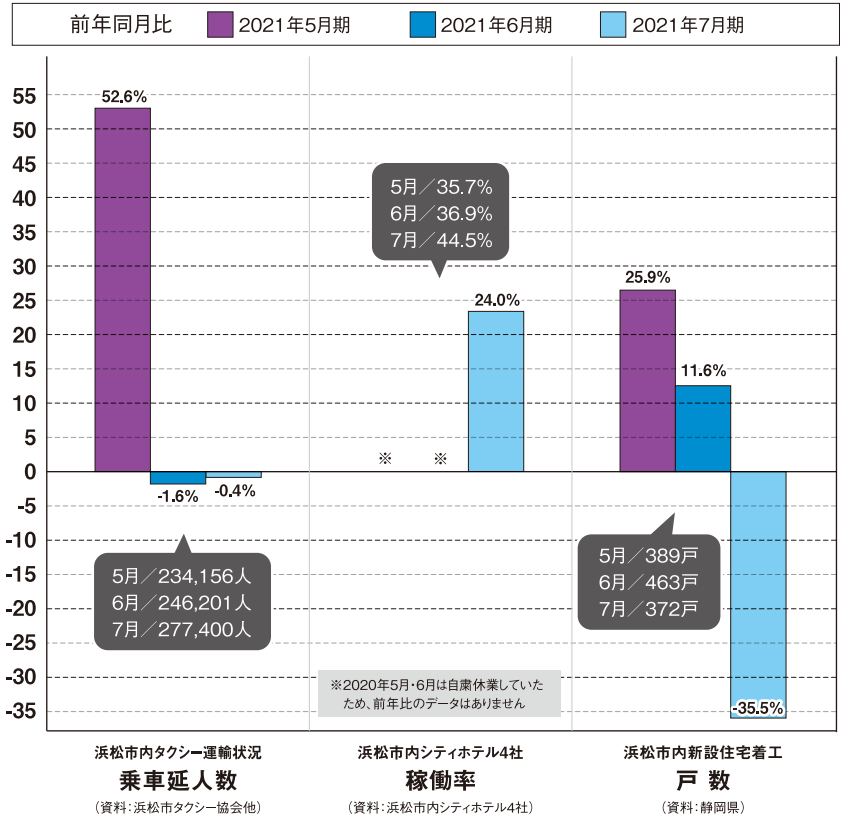


観光業では、7月の浜松市内ホテルの稼働率は、前月より7.6ポイント上昇し44.5%となった。前年は中止となっていたイベント、会合が今年は一部開催されたことと静岡県観光促進事業開始により、個人客、団体客とも増加した。前年同月稼働率を24.0ポイント上回ったが、新型コロナウイルス感染拡大前の前々年同月との比較では43.9ポイント下回っている。

住宅着工



2021年7月における浜松市の新設住宅着工戸数は、前年同月比35.5%減の372戸となった。持家は前年同月比32戸減、貸家は19戸減、分譲住宅は154戸減であった。持家、貸家、分譲住宅すべてで前年同月を下回った。特に、分譲住宅の着工件数の減少が大きかった。前月との比較では91戸下回り、静岡市との比較では66戸下回った。静岡県全体の住宅着工戸数は前年同月を270戸下回る1,632戸であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2021年7月の有効求人倍率は1.08倍と4カ月ぶりに1倍を上回った。前年同月との比較では0.23ポイント上回った。全国(1.15)との比較では0.07ポイント、静岡県(1.22)との比較では0.14ポイント下回った。前月との比較では、0.09ポイント上回った。浜松管内の有効求人数は前月より125人増加しており、雇用情勢の改善が見られる。

倒産企業



2021年7月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は2件、負債総額は1.0億円となった。倒産企業数は前年同月より4件、前月からは6件減少した。静岡県全体の倒産件数は13件で前年同月より7件減少した。新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、企業業績への影響が懸念される。

ガソリン価格



2021年7月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり157.9円となった。前月比4.7円上昇、前年同月と比較すると26.1円上昇した。4カ月連続で150円を超えとなった。3カ月連続で前月価格を上回っており上昇傾向となっている。

外国為替



2021年7月の外国為替は1ドル110.29円、前年同月と比較すると3.51円の円安、前月との比較では0.18円の円安となった。7カ月連続で前月より円安となるなど円安に歯止めが掛かっていない。

